

平成29年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	平成29年12月11日(月) 広島合同庁舎4号館1階共用12号会議室
委員	森嶋 久雄 (委員長/不動産鑑定士) 伊藤 博文 (委員長代理/税理士) 谷村 吉弘 (客員研究員) 田邊 尚 (弁護士) 川西 澄 (大学院准教授)

I 建設工事等に関する審議

審議対象期間	中国四国防衛局 平成29年7月1日～平成29年9月30日		
審議対象件数	55件		
1. 入札状況について(参加資格の設定、指名及び落札決定の経緯等について)			
抽出件数	12件	(審議概要) 「抽出案件」 ・建設コンサルタント業務等 「報告事項」 ・低入札事案について ・不調事案について ・指名停止等の措置状況について	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)		0件
	一般競争(政府調達協定対象外)		0件
	公募型指名競争		0件
	指名競争		0件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等	12件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【抽出案件】 ○建設コンサルタント業務等 【一般競争入札】(1者応札) 《岩国飛行場(H29)統合倉庫建築工事監理業務》 ・1者応札で高落札率(98.20%)であるが、1者応札となった経緯について説明されたい。また、過去からの継続業務であるなら過年度の契約相手方を説明されたい。 ・結果として1者応札となっているが、他の業者に対して周知しているのか。	・本件は統合倉庫及び統合倉庫発電機室の建築工事を対象とした監理業務であり、管理技術者1名が延べ20日巡回、担当技術者2名が20ヶ月常駐することを見込んでいる。 1者応札については、仕様書に定められた20ヶ月常駐できる担当技術者2名を確保することができると推測している。 高落札率については、監理業務の積算手法は一般的に公表されており、業務に必要な人数を明記していることから、予定価格と近似した積算価格の算出は可能であると考えている。 なお、本件は継続業務ではない。 ・発注見通しや入札公告により周知を行っている。	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・本件のような業種については技術者が不足しているのか。</p> <p>・延べ20日の管理技術者の巡回を要求した理由は何か。</p> <p>【一般競争入札】(1者応札) 《岩国飛行場(H29)土木積算等技術業務》</p> <p>・1者応札で高落札率(99.87%)であるが、1者応札となった経緯について説明されたい。また、過去からの継続業務であるなら過年度の契約相手方を説明されたい。</p> <p>・本件はA社以外でも受注が可能な業務か。</p> <p>・本件は岩国飛行場で発注される土木工事全般に関する積算補助業務という事で理解してよいか。また、建築や設備等でも同様の業務を発注しているのか。</p> <p>・平成25年より5年連続してA社が受注しているが、前年度派遣した同じ技術者を、次年度においても派遣しているのか。</p>	<p>・巡回の技術者は他業務との兼務が可能であるが、常駐の技術者は他業務との兼務が認められないため、技術者の確保が比較的難しいと思われる。</p> <p>・業務期間の20ヶ月間で、月1回の担当技術者からの報告受け、工程調整及び担当技術者への指示等を行うための日数として、延べ20日の巡回を見込んでいる。</p> <p>・本業務は、岩国飛行場での再編事業に係る土木工事に関連して、「計画工程」、「概算工事費」、「積算資料及び積算データの作成・整理」、「工事発注図面・特記仕様書数量総括表の作成」等監督官の積算等を補助するものであり、技術者2名が12ヶ月常駐、更に技術者2名が5ヶ月常駐することを見込んだ業務である。</p> <p>高落札率については、「積算手法及び必要人数が公表されていること」、1者応札については「長期かつ複数の技術者の常駐を求めていること」が理由として考えられる。</p> <p>本件は、平成25年より5年間続けて発注を行っている継続事案であり、全て1者応札でA社が受注している。各年度の業務内容で要求する人工数が異なり、予定価格及び契約金額も年度により異なっているが、落札率は各年度とも99%台で推移している。</p> <p>・一般的な土木コンサルタント業務を請け負っている会社であれば実施可能な業務である。</p> <p>・そうである。近年岩国飛行場において工事が集中しているため、監督官の補助を行う業務として実施している。</p> <p>・そうである。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【一般競争入札】（1者応札） 《岩国飛行場（29）計測管理業務》</p> <p>・1者応札で高落札率（99.44%）であるが、1者応札となった経緯について説明されたい。また、過去からの継続業務であるなら過年度歴代の契約相手方を説明されたい。</p> <p>・業務内容として委員会運営業務があるが、委員会の構成はどのようなになっているか。</p> <p>・29年度は28年度よりも契約金額が増えているがその要因は何か。</p> <p>・本業務は今後も継続的に要求されるのか。</p> <p>【一般競争入札】（1者応札） 《岩国飛行場（H29）電気・通信積算等技術業務》 《岩国飛行場（H29）機械積算等技術業務》</p> <p>・両案件とも1者応札で高落札率（99.76%及び99.26%）であるが、1者応札となった経緯について説明されたい。また、本件が過去からの継続業務であるなら過年度の契約相手方を説明されたい。</p>	<p>・本業務は、岩国飛行場における埋立地区の地盤の沈下状況等を把握するための業務であり、具体的な内容は、調査業務（沈下計測（48ha）、FWD調査、ひび割れ調査、既往基準点調査）、解析業務（沈下解析、FWD解析）及び委員会運営業務である。</p> <p>1者応札については、当該業務には埋立における専門的な知見が必要なため、他社では技術者の手配が整わなかった可能性が考えられる。</p> <p>また、高落札率については、本件はB社を含む3社から徴取した見積を参考に積算価格を算出しているが、それらの見積の内、B社の見積が最も安価であったため採用されたことから、結果的に積算価格と契約額が近づくこととなったと考えられる。</p> <p>本件は、平成23年より7年間続けて行っている継続事案であり、応募者は受注業者1者のみである。平成23～25年度はB社の単体、平成26年度以降はB・C社共同体のJVで受注している。</p> <p>・舗装盤の解析等は2名、沈下については2名の委員で構成されている。本業務の計測結果は、委員会開催もしくは開催できない場合は持ちまわりにて各委員に報告し、アドバイス等を頂いている。</p> <p>・沈下を計測する面積が増えたためである。</p> <p>・沈下が収束したと認められるまで続ける必要があると考えている。</p> <p>・本業務は、岩国飛行場での再編事業に係る電気・通信工事及び機械工事に関連して、概算工事費算出、工事発注図面の作成及び工事の問題点等の抽出並びに改善策の提案等の技術的支援業務を行うものである。</p> <p>1者応札及び高落札率の要因に</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・過去から継続して1者が落札しているが、他の業者が参入できる何らかの工夫が必要ではないか。</p> <p>・予定価格が毎年上昇しているのは、1者が続けて受注しているのが原因か。</p> <p>【一般競争入札】（1者応札） 《美保(29)燃料施設新設土木その他設計》</p> <p>・1者応札で高落札率（98.67%）であるが、1者応札となった経緯について説明されたい。また、過去からの継続業務であるなら過年度の契約相手方を説明されたい。</p> <p>・本件は事業として利益的な魅力に欠けるため、入札参加者が少ないという事情もあるのか。</p>	<p>については、先ほどの「土木積算等技術業務」と同様であるが、1者応札の原因として付け加えれば、本業務は、対象事業の内容及び対象地区における事業の計画等を把握した上で業務を実施しなければならず、多種多様で高度な技術を要する業務であり、これまでに実施している既発注工事の状況等を理解している方が有利であることが、他者が参加を控える原因として考えられる。</p> <p>なお本件は、平成25年から5年間継続している業務であり、電気・通信積算等技術業務はD社、機械積算等技術業務はE社が全て1者応札で受注している。</p> <p>・様々な業者に新規参入を呼びかけているものの、設備コンサルタントの業界は全体的に規模が小さいため、1年間技術者を派出できる会社は少ないという実状がある。</p> <p>・労務単価が継続して上昇していること及び28年度は経費率が上がったことにより予定価格が上昇している。</p> <p>・本設計業務の対象は、航空自衛隊美保基地における、地中式燃料タンク(5,500KL×1基)新設に係る土木実施設計、土留工実施設計及び事務室(RC-1 約100㎡)の建築・土木実施設計である。</p> <p>1者応札については、本業務は地中式燃料タンクの設計という特殊な内容であることから、経験のある技術者を抱えていなかったのではないかと考えている。</p> <p>また、高落札率については、本業務の積算手法が公表されていることから、おおよその積算価格の算出は可能であるためと推測している。</p> <p>なお、本件は過去からの継続業務ではない。</p> <p>・業務の内容が比較的特殊な燃料タンクの設計であり、応札業者には燃料タンクの設計経験を求めているため、参加者が少なかったと思われる。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【一般競争入札】 《小月（29）集約施設新設土質調査》 《小松島（29）整備場新設土質調査》 《徳島（29）管制施設新設土質調査》 《防府北（29）気象観測装置新設土質調査》 《土佐清水（29）展開用地整備測量調査》 《徳島外（29）管制施設新設測量調査》</p> <p>・各案件とも50%以下の低落札率案件となっているが、どのような理由でこのような結果となったか説明されたい。</p> <p>・F社及びG社は、小松島の土質調査（平成29年7月6日入札、機械ボーリング70m×1本、F社落札）と徳島の土質調査（平成29年9月6日入札、機械ボーリング51m×1本、G社落札）の両方の入札に参加しているが、F社の小松島と徳島の応札額はボーリング長と理論的整合がとれていないように見られ、かつG社との応札状況の関係をみると小松島はF社が落札できたので、徳島はG社に落札を譲ったようにも推測出来るが、これについてはどのように考えられるか。</p>	<p>・本件業務の概要は、自衛隊施設建設における測量調査業務及び土質調査業務であり、一般的な調査業務である。 本業務の積算手法は、一部を除き、周知されているため、おおよその積算価格の算出は可能である。</p> <p>他方、測量調査業務や土質調査業務の場合、調査会社は自社所有の機材を使用し、自社の社員により調査を行っているため、手持ち業務が少ない場合、社員及び機材を手待ち状態とするより、機材の維持管理費等の分だけでも見込めるなら受注したいと考えることがあるとの説明を競争参加者から受けたことがある。</p> <p>・土質調査の応札額は、先ほど申し上げた理由により安価で入札される傾向があるが、一方で応札時の手持ち業務の状況が応札額に影響を与えることもあり、ボーリング長との整合がとれないこともあり得ると考えている。（建築課長） 本件の様な土質調査については、対応可能な業者が多数あり、また、各業者は他の参加者を入札時に知り得ないことや、本件は一般競争による価格競争であることから、G社及びF社以外の応札者もあり、2者間での受注調整等は成り立たないと考えている。</p>

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【報告事項】 ○低入札事案について（2件） ○不調事案について（5件） ○指名停止等の措置状況について（1件）	
○委員会による意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義件数	0件	(審議概要) なし
工 談合情報	0件	
事 点検結果疑義	0件	
業 談合情報	0件	
務 点検結果疑義	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし	なし
○委員会による意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

3. 入札結果の事後的・分析結果について		
審 議 概 要	なし	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	なし	なし
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

4. 再苦情処理（再説明請求回数）					
再苦情申立件数 (再説明請求件数)		総件数	0 件	(備考) なし	
建 設 工 事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件		
	公 募 型 指 名 競 争		0 件		
	指 名 競 争		0 件		
	随 意 契 約		0 件		
建設コンサルタント業務等			0 件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)		申立日	件 名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問		回 答		
	なし		なし		
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容		なし			

II 契約実施機関が締結する契約（建設工事等を除く。）に関する審議

契約実施機関：航空自衛隊

審議対象期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
審議対象件数	2,688件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	10件	（審議概要） 抽出案件 ・一般競争契約
一般競争	10件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【一般競争入札】（1者応札） 《仮設テント倉庫撤去》 第3輸送航空隊 落札率：99.85% 応札者：1者</p> <p>・1者応札で高落札率であるが1者応札となった経緯について説明されたい。また、本件が過去からの継続業務であるなら歴代の契約相手方を説明されたい。</p> <p>・入札案件の周知はしているか。</p> <p>・本件のような物件は常時必要とするのか。</p> <p>・組立から撤去までを一契約ではできないのか。</p> <p>【一般競争入札】（1者応札） 《臨床検査》 第3輸送航空隊 落札率：99.83% 応札者：1者</p> <p>・1者応札で高落札率であるが1者応札となった経緯について説明されたい。また、本件が過去からの継続業務であるなら歴代の契約相手方を説明されたい。</p> <p>・価格調査の価格差はどれくらいか。</p>	<p>・予定価格算定に業者見積価格を採用しているため、高落札率となった。</p> <p>入札案内時点では、少なくとも2者の参加が見込まれていたが結果的に1者応札となった。参加しなかった業者に理由を確認したところ、時期等の条件により入札を見合わせたとの回答を得た。</p> <p>本件は、賃借物の撤去であり、過去からの継続案件ではない。</p> <p>・リース会社の他、土建関連企業へ入札案内を実施した。</p> <p>・施設整備事業に連動して、必要に応じ限られた期間代替施設として必要とすることがある。</p> <p>・基地の契約権限ではできない。平成29年度以降の新規事業については、航空中央業務隊等において国庫債務負担行為として契約することになっている。</p> <p>・業者見積価格を予定価格としたため、高落札率となった。1者応札については、応札予定業者が入札日を失念していたことがその要因であるものとする。過去5年の契約相手方を確認したところA社であった。</p> <p>・10%前後の価格差である。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・ 予定価格採用の理由は、市場価格調査の結果が安価だからなのか。</p> <p>・ 既存の取引業者が有利になる条件はあるか。</p> <p>【一般競争入札】（1者応札） 《燃料ポンプ室廻りの燃種変更装置の設置》 第12飛行教育団 落札率：99.34% 応札者：1者</p> <p>・ 1者応札で高落札率であるが1者応札となった経緯について説明されたい。また、本件が過去からの継続業務であるなら歴代の契約相手方を説明されたい。</p> <p>・ 防衛局契約の配管工事と一緒に契約することはできなかったのか。</p> <p>・ 入札案内は何社にしたか。</p> <p>・ 1者応札になった理由に心当たりはないか。</p> <p>【一般競争入札】（1者応札） 《警備業務等の部外委託》 第12飛行教育団 落札率：99.16% 応札者：1者</p> <p>・ 1者応札で高落札率であるが1者応札となった経緯について説明されたい。また、本件が過去からの継続業務であるなら歴代の契約相手方を説明されたい。</p>	<p>・ 安価であることも理由の一つではあるが、昨年度の契約実績価格と比較考慮し、それを採用することを妥当と判断した。</p> <p>・ 検体をスコアリングする内容であり、有利になる要素は特にないと考えている。</p> <p>・ 本契約は、防衛装備庁が取得した燃種変更装置の設置役務である。公告期間は22日間とし、入札日は、平成28年12月22日とした。燃種変更装置については、防衛局契約の配管工事と平行して行われた。複数社に対して入札の案内をしたものの、入札参加業者は、防衛局工事の契約相手方と同じB社のみであった。 本件は、今回のみの業務である。</p> <p>・ 航空自衛隊は設置のみの契約を実施することになっており不可能であった。</p> <p>・ 10社に実施した。</p> <p>・ 配管工事と平行して作業をするため工期、日程調整等の影響があったのではないかと推測する。</p> <p>・ 本契約は、防府北基地航空祭の際の警備業務であり、45名の警備員を必要とする業務である。複数の業者に対して、入札の案内をしたものの、45名を確保できる業者は、応札業者1者のみであった。他の業者に確認したところ、確保できる人数は2～3名、多くても10名程度であった。また、応札について前向きな回答を頂いた業者はあったものの、業者の判断により入札参加までには至らなかった。 歴代の契約相手方は平成24年度、25年度がC社、26年度以降はD社となっている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・警備会場が2箇所あるが分けて契約できないのか。</p> <p>【一般競争入札】（1者応札） 《外注洗濯》 航空教育隊 落札率：99.28% 応札者：1者</p> <p>・1者応札で高落札率であるが1者応札となった経緯について説明されたい。また、本件が過去からの継続業務であるなら歴代の契約相手方を説明されたい。</p> <p>・周辺に実施可能な業者はいないのか。</p> <p>・年間の学生数はどれくらいか。</p> <p>・医療従事者用衣類の規格は水洗いとなっていますが、別に仕様書があるのか。</p> <p>【一般競争入札】（1者応札） 《スイッチ外》 航空教育隊 落札率：99.51% 応札者：1者</p> <p>・1者応札で高落札率であるが1者応札となった経緯について説明されたい。また、本件が過去からの継続業務であるなら歴代の契約相手方を説明されたい。</p> <p>・規格は指定しているのか。</p>	<p>・29年度より分けて契約を実施している。競争性の確保に関しては一定の成果があった。</p> <p>・予定価格を算定する際は、各業者に市価調査を依頼し、提出して頂いた市価調査で最も安価な価格を予定価格として採用しており、採用した業者が落札しているため、高落札率となっている。1者応札になった経緯としては、前年まで参加していた業者が、今回は参加しても受注の見込みがないと判断したものと推測する。</p> <p>本契約は毎年度実施する継続契約であり、平成28年度以外は2社参加しているが、契約相手方は過去5年間E社となっている。</p> <p>・役務内容は一般的なクリーニング業務であるが、数量が著しく多いため、それだけの能力を保持している業者は限られる。</p> <p>・4月のピーク時には千人を超える学生が入校している。</p> <p>・仕様書はない。この規格が全てである。</p> <p>・予定価格の算定については、各カタログの割引率を採用し、適用するカタログが無い場合は、市価調査を徴取し安価な価格を予定価格として採用している。本入札は全108品目中68品目がカタログで、40品目が市価調査としており、結果として高落札率になったと考える。1者応札となった経緯については業者の総合的な経営判断と推測する。</p> <p>本入札は全く同一なものは無く、同種のものであれば年に数回実施しており、2～3社参加している。</p> <p>・製品指定のものもあるが、基本的には同等品可としている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・品目の中で「ガンクリーナー」というものがあるが、一般的に売っているか。</p> <p>・今回108品目あるが、もっと細分化してどうか。</p> <p>【一般競争入札】(複数者応札) 《教官業務の部外委託》 第12飛行教育団 落札率：100.00% 応札者：2者</p> <p>《車両外注整備》 第12飛行教育団 落札率：100.00% 応札者：2者</p> <p>《プール管理業務》 第12飛行教育団 落札率：100.00% 応札者：2者</p> <p>《宿舎借上》 第12飛行教育団 落札率：100.00% 応札者：4者</p> <p>・各案件とも複数者応札にも拘わらず落札率が100%であるが、どのような理由でこのような結果となったか説明されたい。</p> <p>・予定価格の算定方法について、安価なものを採用しているようだが、複数者の平均値を採用してもいいのではないか。</p> <p>・教官業務の部外委託でF社とG社で分かれているが、業者間ですみ分けをしてないか。</p> <p>・車両外注整備は2社が同額で応札しているが。</p>	<p>・一般の人が購入できるかどうかは分からないが、金物屋等であれば取扱える商品であると思う。</p> <p>・極端に細分化しては経済性を損なうこともあるので、その都度適正に分類分けを実施している。</p> <p>・各案件とも予定価格算定に際し、業者より市場価格調査として徴取した参考見積を比較し最も安価な価格を採用した。入札時に参考見積と同価で応札してきたため、複数者応札にも拘わらず落札率が100%となった。</p> <p>・平均値を採用することについての妥当性・根拠が明確でないものについては、最も安価なものを採用している。</p> <p>・本契約は、単品決定であり、それぞれの業者によって教育できる課目が違うためであり、それはないと考える。</p> <p>・偶然である。</p>

2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義件数	0 件	(審議概要) なし。
談合情報	0 件	
点検結果疑義	0 件	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	・なし。	なし。
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし。	

3. 再苦情処理（再説明請求回数）				
再苦情申立件数 (再説明請求件数)	総件数	0 件	(備考) なし。	
一般競争		0 件		
指名競争		0 件		
随意契約		0 件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)	申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問		回 答	
	なし。		なし。	
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし。			